

地震予知は直近に限る？

フリーランスライター 藤木 順平

友人が文句を言っていた。「見たい番組を留守録していたら、地震速報が入って場面が切り替わり、番組は中止になっていた」と。

チャイムのあと「〇〇で地震があり、震度2」というテロップが画面に流れると、不謹慎ながら震度2でそこまでする？と思ってしまっ

番組が中止になるほどの地震なら、それはそれで大変だし、関係者にはお気の毒なのだが…。

かつて、地震は予知できるとして、ある大学の先生方を中心に、たくさんの方の国家予算を費やして地震計を設置。結果、何年前かに「予知できない」と白旗を掲げたことがある。

国が予知できないのならと、市井の地震学者や研究者、物好き、一般市民が予知に乗り出した。いわく、

「変な形の雲があった」「発光現象があった」「深海魚が出てきた」「カラスが騒いだ」「子どもが急に勉強を始めた」などなど（最後のやつは冗談）。

「私は30年前に、あの地震を予知していた」という人がいたら、そんなに前から？すごい！と思ってはダメ。30年の間にはさまざまなことが起きるものだ。日本では震度4以上の地震が年間50回ほど、どこかで発生している。

来年は関東大震災から100年。改めて地震対策に取り組むにはいい機会だ。

来年は関東大震災から100年。改めて地震対策に取り組むにはいい機会だ。

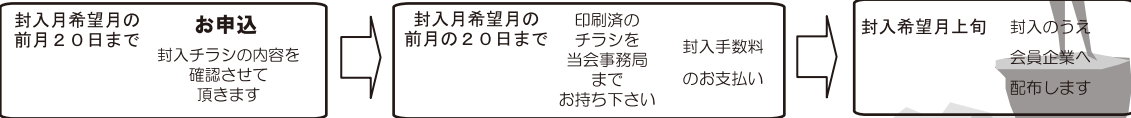
【筆者紹介】

藤木順平（ふじき・じゅんぺい）フリーランスライター。日本笑い学会会員。

お店や会社の広告を広報誌に封入しませんか

当会では、広報誌「法人ニュースはこだて」を年11回、月刊誌として（2月号除く）会員等約1,900社へ配布しております。封入手数料は下記の通りとなりますので、ぜひご利用頂きますようお願い申し上げます。

- 封入手数料 … 10,000円（税込）
 - 配布先企業数 … 約1,900社
 - チラシのサイズ … A4サイズ（両面可）
- （印刷済のものを持込んで頂きます）



詳しくは法人会事務局（54-9369）までお問い合わせください。

7つの間違い探し

● 右の絵と左の絵には相違点が7か所あります。見つけられますか？（答えは11頁にあります）



【作者紹介】

神谷一郎（かみや・いちろう）専修大学法学部卒業後、漫画プロダクションを経て漫画家に。現在はフリーランスのイラストレーターとして、雑誌・広告・水彩画挿絵等で活躍中。



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ

イータックス

検索